

# 家の葬式

空き家の主な発生原因は、住宅の性能、立地といった条件よりも、所有者の死亡や施設等への転居といった個人の事情によるところが大きい。しかし、多くの空き家所有者は当事者意識が希薄であるため、いざ空き家が発生したときに対処できず、問題が深刻化している。

一方、空き家数は着実に増加しており、様々な活用手法等は提案、実践されているものの、すべての空き家を活用しきめることは困難であり、相当数の空き家を壊す必要があると考えられる。

そこで、家を壊す際に、家を見送る際の儀式「葬式」を行うことにより、一人一人が空き家の最期をみつめ、空き家について考える機会を創出する。「家の葬式」という文化を根付かせることで、空き家の管理意識の向上を図り、長期的には、地域全体の活力の向上へとつながっていく。

## 七、告別式

空き家の持ち主らが、家に対する感謝や竣工から空き家になるまでの家の歴史などを伝える。

儀式に参加した一人一人が、壁にメッセージを描くなど思いをそれぞれの形で表現する。

## 八、葬送

家と最期の別れを告げ、解体する。

## 九、箸渡し

解体された空き家に対して敬意を払い、黙祷を捧げる。

## 六、通夜

関係者が思い出の品などを整理し、家との別れを惜しむ。

## 五、空き家

やむを得ない事情により、空き家に。

## 四、居住

家族一家で住んでいた在りし日の想ひで。

## 参、竣工

皆の希望が詰まったマイホーム。

## 七、地鎮祭

土地の神様を鎮め、工事の安全と土地の盤石を祈る。

## 式、上棟式

棟木を棟に上げる際の儀式。

## 拾、納骨

儀式に参加した人同士で、空き家の廃材の活用について話し合い、ベンチや看板、子供用のおもちゃなど、新たなものを生み出す。

## 拾壹、造暮

納骨を通じて完成したものが地域へと還っていくことで、空き家は「わたし」から「わたしたち」のものに昇華する。

## 管理意識の向上

空き家を所有している場合、他家の空き家の葬式に参列することで、自家の空き家の管理意識の向上につながる。

## 事前対処の広まり

現在空き家を所有していないくとも、今住んでいる家を将来どうするか、家族会議や遺言等により、事前に手を打つようになる。

## 地域への波及効果

空き家に対する意識が向上することで、問題空き家が発生しなくなるだけでなく、葬式をきっかけとした住民同士のつながりやコミュニティ、防災、防犯力などが強化され、また空き家自体も形を変えて地域へと還元されていき、地域全体の活力の向上へとつながっていく。

